

令和7年度 京都国立博物館

第92回 夏期講座のご案内

テーマ 国宝再考

8/1 FRI
2 SAT

文化財保護法が制定されて75年。

国宝は「重要文化財のうち世界文化の見地から価値の高いもので、たぐいなき国民の宝たるもの」とその条文はうたいます。

大阪万博が開催される2025年、グローバル化が加速する社会において、国宝とは何か、さまざまな切り口からあらためて考えてみましょう。

会 期 令和7年8月1日(金)、8月2日(土)

会 場 京都国立博物館 平成知新館 講堂

定 員 200名(事前申込制・先着順)

受講料 3,000円 テキスト代、2日間の名品ギャラリー(平常展示)の観覧料を含む

必ず
裏面をご確認
ください

1 金

【9時30分～9時55分】

受付

【9時55分～10時00分】

開会の挨拶 松本 伸之(京都国立博物館 館長)

第1講 【10時～11時30分】

中世水墨画の名品と日本美術史

森 道彦(京都国立博物館 主任研究員)

第2講 【13時～14時30分】

典籍の国宝 ―その魅力

上杉 智英(京都国立博物館 主任研究員)

第3講 【14時45分～16時15分】

民衆の「宝」―民俗文化財の保護の思想と制度―

前田 俊一郎 氏

(文化庁 文化財第一課民俗文化財部門 主任文化財調査官)

2 土

第1講 【10時～11時30分】

日本による中国文化遺産の
保護協力活動を振り返る

岡田 健 氏(東京文化財研究所 名誉研究員)

第2講 【13時～14時30分】

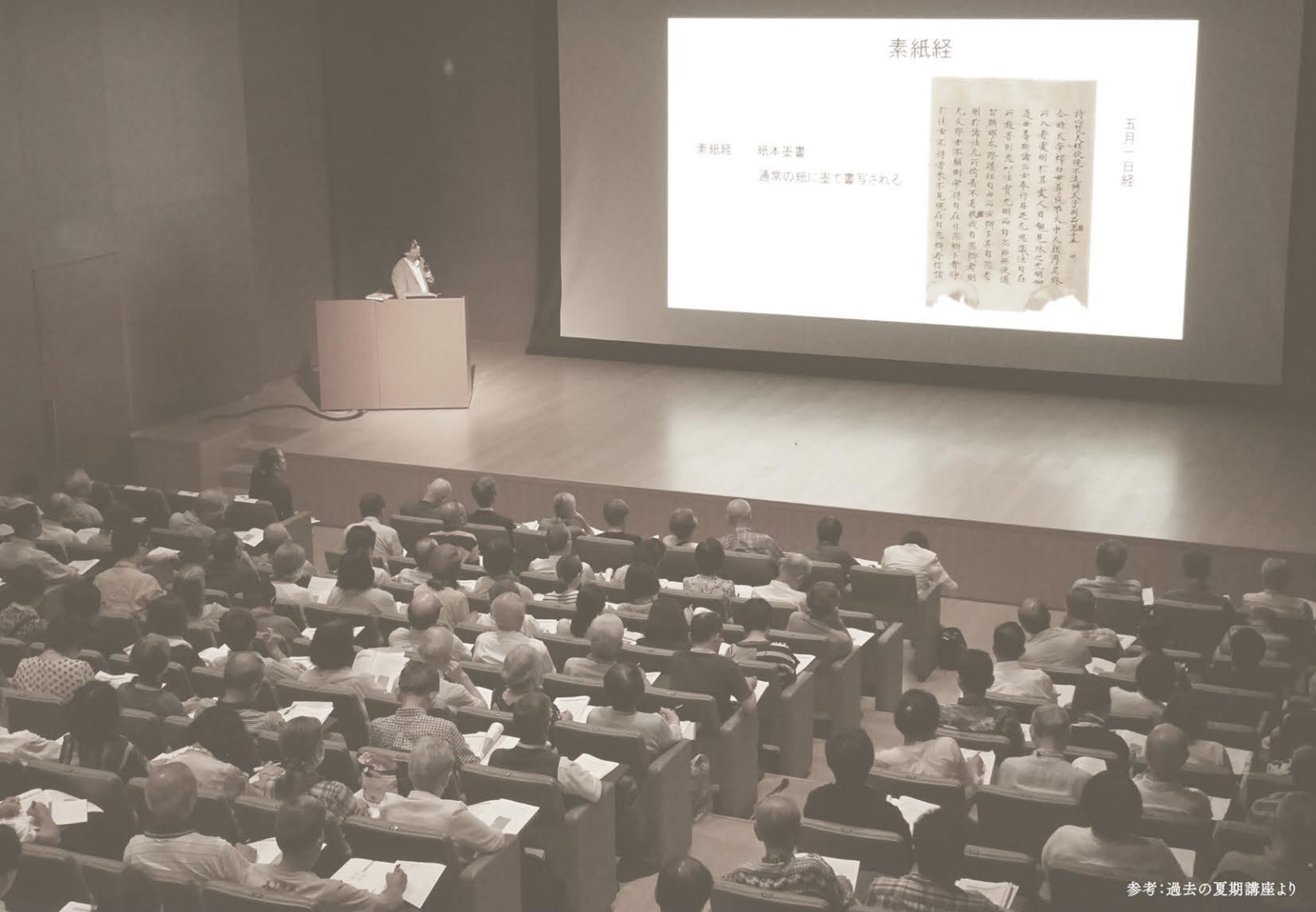
国宝の染織 ―祈りを荘厳する

山内 麻衣子(京都国立博物館 調査・国際連携室長)

第3講 【14時45分～16時15分】

イタリアの都市と美術

宮下 規久朗 氏(神戸大学 大学院人文学研究科 教授)



参考：過去の夏期講座より

KYOTO NATIONAL MUSEUM

申込方法

先着順です。申込締切日までにお申込みください。

2025年5月7日(水)10時より申込を開始します。

京都国立博物館ウェブサイトの「夏期講座」ページをよく読んでお申込みください。

自動返信にて受講料(3,000円)の振込先等、詳細をお知らせします。

https://www.kyohaku.go.jp/jp/events/sum/2025_sum/



申込締切

7/13(日) 定員に達した場合は締切日以前であっても受付を終了します。

- ・当館ウェブサイトにもその旨を掲示します。
- ・キャンセル待ちや、開催当日の受付は行いません。

お問い合わせ先

TEL **075-531-7716**

(平日 9:30～12:00、13:00～16:30)
京都国立博物館 教室



京都国立博物館
KYOTO NATIONAL MUSEUM